

(別紙様式)

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立和気閑谷高等学校		
実践者等	赤島真一	実践日	令和3年11月4日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	商業(課題研究)		
対象生徒(学年等)	課題研究(3年キャリア選択者9人)		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	サービス・接客・マナー		
使用したアプリ等	スライド・classroom		
実践の概要(ねらい等)	グループ協議でのclassroomの活用		

実践の内容

(1) 前時の振り返り

- ・前時に生徒がケース1～3に対して端末を使って記述した内容を相互に確認する。



- ① お客様が困っているがそれはなぜか?
- ② 美容院スタッフはどのように案内するのがよいか? [ケース1]
- ① 秘書が応接室で商談をしている上司と客にお茶を出そうとしているが、秘書の様子が何かおかしい?
- ② 秘書はどのように対応すればよいか? [ケース2]
- ① お客様が不愉快そうな表情をしているのはなぜか?
- ② レストランスタッフはお客様をどのように案内するのがよいか? [ケース3]

(2) 本時の内容を説明

- ・ケース1～3までの自分の考えと他人の考えの相違点をチェックしてそれぞれのケースごとに自分の考えをclassroomに提出する。

〈9人がそれぞれ3人ずつの3グループに分かれて協議〉

- ・適切な対応方法を各グループごとにまとめ発表する。

- ・日頃から心がけておきたい事柄についても意見交換する。

〈グループで協議した結果を全体で発表して共有する。〉(代表者)



参考となるHP等

実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。(肖像権の確認等は各校で行った上で提出してください。)